

**平成29年度全国公認スポーツプログラマー研究大会
兼全国体育施設管理者研修会**

1. テーマ：【講演】「スポーツのカ～パラリンピアンからのメッセージ～」
【実習】「スポーツ現場における応急処置の基本と応用」

2. 開催趣旨：平成元年から養成を開始し、現在登録指導者数3,800人余を数える公認スポーツプログラマーは、我が国地域社会の健康志向者のライフスタイル構築に応える役割を担っている。また、全国の体育・スポーツ施設管理運営に従事する施設管理者についても、活動の場の提供のみならず、活動の維持・継続を支える重要な役割を担っているといえる。
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、高まりを見せつつある国民のスポーツへの関心及び参加意欲を踏まえ、関係者が一堂に会し、テーマに添った講演と実習を通し、その資質向上を図ることを目的としている。

3. 主催：公益財団法人日本体育施設協会

4. 共催：公益財団法人日本体育協会（予定）

5. 後援：独立行政法人日本スポーツ振興センター（予定）

6. 開催日：平成29年12月8日（金）

7. 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟4階417室（セミナーホール）、スポーツ棟大体育室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
（小田急線参宮橋駅下車7分、東京メトロ千代田線代々木公園駅下車徒歩10分）

8. 参加対象：公認スポーツプログラマー（更新義務研修になります。）〔この研究大会は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修となります。ただし、水泳、サッカー、スキー、テニス、バドミントン、剣道、空手道、バウンズドテニス、エアロビック（上級コーチのみ）、チアリーディング（コーチのみ）、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー、プロゴルフ（教師・上級教師）、プロテニス、プロスキー資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。（平成29年4月1日現在）〕
上級体育施設管理士・水泳指導管理士・体育施設管理士・体育施設運営士・トレーニング指導士〔この研究大会は、公益財団法人日本体育施設協会公認資格取得者の資格更新要件となります。〕有資格者

9. 参加費：5,000円（税込）

10. 定 員：250名

11. 申込方法：参加費と①氏名（ふりがな） ②生年月日（西暦） ③資格名 ④登録番号 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話番号を明記したものを同封の上、下記申込先へ現金書留で送付してください。先着250名で締め切ります。受理した方に、受講証・領収書・会場案内図を送付いたします。

12. 申込期間：平成29年10月23日（月）～11月20日（月）

13. 持ち物：受講証、トレーニングウェア、シューズ、タオル、筆記用具、健康保険証
※プログラム等は研究大会当日受付でお渡しします。

14. 留意事項：①この研究大会は公認スポーツプログラマー及び公益財団法人日本体育施設協会公認資格取得者の資格更新要件となります。

②当日は受講証を受付に提出してください。

③昼食は各自負担です。会場には下記食堂がございます。そちらもご利用いただけます。

<センター棟>①【カフェテリアふじ】朝食 7:00～ 9:00

昼食11:00～13:30

夕食17:00～19:00

②【カフェフレンズ】 8:00～19:00

<カルチャー棟>①【レストランとき】昼食11:30～14:30

夕食17:00～22:00

<D 棟>①【レストランさくら】 7:00～23:00

②【売 店】 7:30～21:50

<そ の 他> 【カフェ&ベーカリーびっころ】 8:00～19:00

④貴重品については各自で管理し、紛失・盗難・忘れ物には十分注意してください。

⑤当日の申し込みは受け付けません。

⑥納入された参加料はお返しいたしません。

⑦欠席の場合は必ずご連絡ください。

⑧参加申込にあたって収集した個人情報は、関連資料等の送付を目的に使用します。

また、研修会中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育施設協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません。

15. 申 込 先：公益財団法人 日本体育施設協会 事業部

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨2-7-14

巢鴨スポーツセンター別館3F

TEL：03-5972-1983

FAX：03-5972-4106

E-mail：mail@jp-taiikushisetsu.or.jp

【問い合わせ時間 9:00~17:00 (土日祝日、毎月月末を除く)】

16. 研究大会内容

【講演】:「スポーツのカ~パラリンピアンからのメッセージ~」

講師 パラリンピック・アスリート アルペンスキーヤー 大日方 邦子

【実習】:「スポーツ現場における応急処置の基本と応用」

講師 国際武道大学 体育学部 准教授 笠原 政志・トレーナーチーム

17. プログラム

平成29年12月8日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター

9:00~9:30	参加者受付(センター棟 417室前)
9:30~9:50	開会式(センター棟 417室) 主催者挨拶 公益財団法人日本体育施設協会 公益財団法人日本体育協会
9:50~10:00	休憩
10:00~11:10	講演(センター棟 417室) 講師:大日方 邦子
11:10~13:00	昼休み・移動
13:00~15:00	実習(スポーツ棟 大体育室) 講師:笠原 政志・トレーナーチーム
15:00~15:30	質疑応答
15:30	閉講式(スポーツ棟 大体育室) 解散

18 講師プロフィール

講演

【氏名】大日方 邦子(おびなた くにこ)

【所属先】パラリンピック・アスリート アルペンスキーヤー

株式会社電通パブリックリレーションズ オリリンピック・パラリンピック部

【略歴】1972年4月16日 東京都生まれ

1976年 交通事故により負傷(3歳)

1996年 中央大学法学部法律学科 卒業

1996年 NHK 入局

2007年 株式会社電通パブリックリレーションズ 入社

現在、オリンピック・パラリンピック部 シニアコンサルタント

2017年 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程 修了

【冬季パラリンピック大会での主な成績】

1994年 リレハンメル大会【滑降 5位】

1998年 長野大会【滑降 金メダル】【スーパード回転 銀メダル】【大回転 銅



メダル】

2002年 ソルトレークシティ大会【大回転 銅メダル】【回転 金メダル】

2006年 トリノ大会【スーパー大回転 銀メダル】【大回転 金メダル】

2010年 バンクーバー大会【回転 銅メダル】【大回転 銅メダル】

- 【主な役職】●日本パラリンピック委員会 運営委員
- 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 副会長
 - 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 理事
 - 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 顧問会議 顧問
 - 東京2020 有識者懇談会 委員
 - ニッポン一億総活躍プランフォローアップ会合 民間議員
 - スポーツ庁 スポーツ審議会 委員
 - 国土交通省 交通政策審議会 委員
 - 内閣府 障害者政策委員会 委員
 - 経済産業省 産業構造審議会2020未来開拓部会 委員
 - 東京都 スポーツ振興審議会 委員
 - 横浜市 スポーツ推進審議会 委員
 - 中央大学 理事
 - 渋谷区教育委員会 委員
 - 日本スポーツ振興センター SPORTS JAPANアンバサダー

【著 書】『壁なんて破れる—パラリンピック金メダリストの挑戦』（2006年 日本放送出版協会）

実 習

- 【氏 名】笠原 政志（かさはら まさし）
- 【所 属 先】国際武道大学 体育学部 准教授
- 【学 歴】2002年 国際武道大学体育学部体育学科 卒業
2005年 国際武道大学大学院 修了
2012年 鹿屋体育大学博士後期課程修了（体育学博士）
- 【経 歴】1979年7月14日 千葉県生まれ
- 2005年 国際武道大学トレーニング室 アスレティックトレーナー
 - 2008年 国際武道大学体育学部スポーツトレーナー学科 助教
 - 2014年 北海道大学教育特別支援機構 客員准教授
 - 2015年 Australian Institute Of Sport 客員研究員
 - 2016年 国際武道大学体育学部／大学院 准教授
- 【資 格】●日本体育協会公認アスレティックトレーナー
- 日本ライフセービング協会 BLS インストラクター
 - オーストラリアスポーツ医学会認定スポーツファーストエイダー
 - NSCA 認定ストレングス&コンディショニングコーチ



●日本トレーニング指導者協会認定上級トレーニング指導士

【主な活動】●国際武道大学トレーナーチーム※ ヘッドコーチ

●NPO 法人コンディショニング科学研究所 理事

●千葉県アスレティックトレーナー協議会 副会長

●ライフセービング日本代表ハイパフォーマンススタッフ

●日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 講師

※国際武道大学トレーナーチーム

【トレーナーチームとは】

30年以上の歴史があり、卒業生が600名を超える。卒業生の中にはプロスポーツ現場、教育現場、医療関係等の現場でトレーナーとして活躍している者が多くいる。現在は、大学の学友会に所属し、大学公認のクラブとして位置づけられ、スポーツ医科学サポートを目的に、アスレティックリハビリテーションサポート、各クラブでのトレーニング指導、学外トレーナーステーション活動、体力測定サポート等を行っている。

【活動目的】スポーツ選手に対するトレーナーと知識・技術の啓発活動をすると同時に、学内・外のスポーツ医科学サポートを通じた人間形成を行う。

【活動体制】部 長：山本利春（国際武道大学体育学部／大学院 教授）

ヘッドコーチ：笠原政志（国際武道大学体育学部／大学院 准教授）

コ ー チ：清水伸子（国際武道大学体育学部 助手）

西山侑汰（国際武道大学 嘱託職員）

アシスタントコーチ：大学院生2名

学生トレーナー：86名